



南行通信

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和6年12月3日
校長 中村 由美子



いよいよ12月。暑い夏に始まった2学期もまとめの時期をを迎えます。

「見てみて、口から白い煙が出るよ」「廊下の窓から見える葉っぱの色がどんどん変わっていくよ」など、季節を感じ教えてくれる子がいます。温暖化や都市化など様々な理由で季節感が薄れているといわれる現代ですが、季節の小さな変化に気づく感性を大事にしたいと考えます。学校では、サツマイモの収穫・春咲き球根の植え付け・落ち葉や木の実を使ったおもちゃ作り・「月」の観察・「俳句」や「川柳」作りなど様々な活動で季節を感じさせる学習を行っています。12月に入ると、冬や年末ならではの催し物や行事も多くなり、季節の移ろいを感じる機会もさらに増えます。様々な経験を通して、子供たちの豊かな心を育んでいきたいと思っています。



さて、11月9日(土)のドレミファ集会は、子どもたちのすてきな歌声と楽器の演奏が体育館中に響きました。子供たちの振り返りを紹介します。

はやくならないように気を付けてうたいました。笑顔で歌をうたえるようになりました。

音程を保ち、大きな声で歌いました。歌詞をわかつてもらえるように「さわやかな声」を意識しました。

学年みんなで歌の入りを合わせられるよう、息の吸い方をがんばりました。音を響かせました。

自分たちの歌を聞いた1・2年生のリアクションがよくてうれしかったです。

7日(木)の校内発表会を経て、さらによい音楽をおうちの方に聞かせようと頑張っていました。自分たちの歌を聞いてもらったり、友達と音楽を作り出したりする経験は、子供たちを大きく成長させる時間となりました。

今後も様々な教育活動を通して、子供たちの「心」を育んでいけるよう取り組んでまいります。

様々な学びを

地域の皆様や専門家などから学ぶ活動を行っています。一部ですがご紹介します

【1年生】

幼稚園や保育園の友達を招待して、自分達が作った様々な遊びでもてなしました。

【2年生】

町探検で、地域の店や公共施設の方から教えてもらいました。



【3年生】

総合的な学習で調べている「うんち」をさらに知るために、ヤクルト・生活アドバイザーからお話を聞きました。

【4年生】

落語家の三遊亭円福さんから、落語について教える小話を聞きました。

【5・6年生】

みなみっ子センターさんからミシン学習を助けてもらいました。アスリートから学ぶ学習も予定しています。

「きいてよ、先生！QR」

校長室前に「お話ポスト」を設置して1ヶ月、いくつもの声が入ってきました。その他に、いつでも困ったときに相談できるよう、3年生以上のタブレットに「聞いてよ、先生！QR」を配信しました。校長・教頭・生徒指導主任に相談できるようになっています。

持ち帰り荷物を減らします。

毎日、家庭に持ち帰る教科書等についてお知らせします

- 宿題・課題に必要な教材
- 筆箱
- 連絡袋(連絡帳)
- タブレット(4年生以上)

左記以外の持ち帰りがある場合もあります。

荷物の軽量化を図るとともに、家庭で学習すべき課題を明確にしました。家庭学習確認週間で身につけた進んで学習する習慣を継続できるよう声をかけていきます。